

広報

いちき 串木野

愛がたっぷいのまち

Ichikikushikino City
Public Relations



2018年2月20日発行
VOL.148

2
2018



いちき串木野
明治維新
150周年



フォトコンテスト2017入賞作品発表



スマホで見られる広報紙
マチイロ





PHOTO CONTEST

作品テーマ
「日常」

政策課 (☎33-5672)

写真部門

大賞



釣果です
山田 宏作 (霧島市)

準大賞



熟練の技
脇田 佳子 (鹿児島市)

審査員評 おばあちゃん笑顔がチャーミング。人物をとらえているシンプルさとストレートさが潔く、被写体と撮影者の信頼関係が自然に伝わってきて、温かい気持ちになる作品。

特別賞

いちき串木野市観光特産品協会賞



日々精進
寺田 達矢 (静岡県)

サクラカネヨ賞



a symbol
安楽 健一郎 (鹿児島市)

入賞

配達の出会い
木元 邦義 (鹿児島市)

今日と明日
笹木 美沙 (いちき串木野市)

こんにちワン！
今吉 祐太 (薩摩川内市)

今日もよか日和
上原 修一 (日置市)

切磋琢磨
船蔵 亨太 (いちき串木野市)

おいらの散歩道
安楽 健一郎 (鹿児島市)

港のランチタイム
岩田 サツ子 (薩摩川内市)

暮れる頃
久保 政行 (薩摩川内市)

久しぶりに会う友達
黒田 美保子 (いちき串木野市)

龍の春
吉村 省三 (鹿児島市)

JA さつま日置ヒオッキー賞



繋げよう未来へ
杉山 義文 (鹿児島市)

濱田酒造グループ賞



明日へ
西田 和代 (霧島市)

WEB 部門

大賞



留学生の生活
レーアン キエト (いちき串木野市)

審査員評 今回の応募の中で最も写真的だなと思った作品。日常の中にあるこのシーンを切り取るセンスが素晴らしい。光と影のバランス、構図がドラマチックで、感情が静かに揺さぶられた。

準大賞



いつかの日常
下酔尾 昌彦 (いちき串木野市)

入賞

いざ出漁
寺田 達矢
(静岡県)

みんなでマッサージ
上原 丈治
(いちき串木野市)

帰り道
浦部ひなた
(熊本県)

マザーリーフ
横手 朋子
(いちき串木野市)

オレンジ
川口 祐介
(鹿児島市)

風を感じて
久保あすか
(いちき串木野市)

夢の路
張 琬柔
(いちき串木野市)

仲良し小路
村山 隆
(鹿児島市)

季節の贈り物
中村 吉文
(いちき串木野市)

お爺さんの読書
左居 瑞彬
(大阪府)

総評



審査員
写真家 下蘭 詠子氏

今年で3回目の開催、今回はWEB部門も加わり、見慣れたいちき串木野の「日常」を新しい視点で見ることができました。また、初回から応募いただいている方の作品に技術の進歩が見受けられる作品もありました。

ただ、人を正面からとらえた作品は少なかったため、例えば海風に吹かれ、深いシワが刻まれた力強いまっすぐな人物のポートレートなど、風土を感じる作品も見てみたいと思います。

いちき串木野市 フォトコンテスト 2017

- テーマ 日常
- 募集期間 H30.1.1~1.31
- 入賞作品数 28点
- 応募総数 363点
(写真部門206点 / WEB部門157点)
- 審査日 H30.2.9
- 審査員 写真家下蘭詠子氏
- 主催 いちき串木野市
- 協賛 いちき串木野市観光特産品協会/
サクラカネヨ/JAさつま日置/
焼酎蔵薩州濱田屋伝兵衛/
焼酎蔵薩摩金山蔵

フォトコンテスト 2017 入賞作品展

3月18日(日)~4月15日(日)
薩摩金山蔵 金山ホール
野下13665 火曜定休日 ☎21-2110

4月16日(月)~5月6日(日)
サクラカネヨ ソースギャラリー
大里3868 木曜定休日 ☎36-3121

作品は市のホームページでもご覧頂けます。

Ichiki Kushikino City
PHOTO
CONTEST
2017



総合観光案内所が同時に開催していたInstagramの「フォトコン2017勝手に応援キャンペーン!」には422件の素敵な投稿が寄せられました。Instagramでハッシュタグ「#ikcフォトコン2017」を検索すると投稿作品をご覧になれます。



まちなか 茶いっぺ



立和名 正子さん

岩崎 絢子さん

南 タミ子さん

石野 恵子さん

上夷 光江さん

“茶いっぺ”で皆を笑顔に

いちき申木野商工会議所女性会

毎月第2・4木曜日、商店街にある交流スペース“まちなかサロン”では、「茶いっぺで語いもんそ」が開かれています。

「茶いっぺ」とはお客さんに「お茶を一杯どうぞ」という鹿児島のおもてなしの言葉。その名のとおり、会を開いている、いちき申木野商工会議所女性会（以下「女性会」）が、健康体操や手作りの漬物などで参加者をもてなします。

この「茶いっぺ」が始まったのは平成27年7月。以来月2回のペースで開き、2月22日に50回目の開催を迎えます。

もともとは商店街に賑わいを作り出すため、「まちなかサロン」を女性会も利用してほしい」と、商工会議所に要請を受けて始めたものです。女性会では、高齢者などが病院の待合室で話し込む姿を見て「病院じゃないところで誰でも気軽に立ち寄れる語らいの場を作りたい」と、

常々思っていたこともあり、「茶いっぺ」をまちなかサロンで始めました。

「茶いっぺ」では、健康体操のほか、相談会や抹茶体験、しおり作りなどの活動がその時々に応じて開催されています。もちろん、その後は持ち寄った漬物などを茶請けに参加者と世間話に花が咲きます。

「茶いっぺ」の運営は手弁当のボランティアです。女性会会長の石野恵子さんなど5人を中心に、その時手伝える会員が手伝います。石野さんは「仲間がいて、無理せずに、できる人ができる範囲でやっているから続けられる」と笑います。

「茶いっぺ」に参加する方は高齢女性が多いそうですが、皆「楽しかった」「次はいつあるの?」とニコニコしながら帰っていくそうです。また、県外から転居してきた人に「次も来ていいですか?」と聞かれたこと

もありました。

そうした参加者が喜ぶ姿を見て、また自分たちが必要とされていることを感じ、「私たちも参加者から元気をもらっている。ここにきてお手伝いができる事がありがたい」と、「茶いっぺ」の活動にやりがいを感じています。

「ここにきて笑ってほしい」と女性会が願うように、来た人は笑顔になって帰っていきます。それこそが次の「茶いっぺで語いもんそ」を開催する原動力です。

皆さんも“茶いっぺ”で楽しい時間を過ごしにまちなかサロンを訪れてみませんか。

■茶いっぺで語いもんそ

毎月第2・4木曜日10:00~12:00
申込不要・参加費無料

問合せ いちき申木野商工会議所女性会

☎32-3124



褒められて伸びる子のコラム

vol.22 今月のコラムニスト 花田直樹

ickskn2016

検索



ポッチャで使う道具

地域おこし協力隊の花田直樹です。寒い日が続いていますが、みなさんお元気でしょうか。

宮崎県延岡市からいちき串木野市に来て4か月がたちました。雪の積もった日もありました。雪の積もる

ことのない宮崎で暮らしてきた私は車のタイヤにチェーンを巻いた方がいいのかと慌てたりもしました。

来たばかりの頃はよく道を間違え同じところをウロウロしたり、病院の場所が分からず予約時間に間にあわなかったりと地理で苦勞をしましたが、最近はそのようなことも少なくなりました。

焼酎を飲む、料理の味付け、言葉などはお隣同士の鹿児島と宮崎で似たところもたくさんあり親近感があります。まだ慣れないこともありますが時間が経つにつれ解決していくと思います。

私の地域おこし隊での役割、地域健康プランナーの活動にある大きな目標は、市民みなさんの健康づくりをお手伝いすることです。

以前働いていた運動施設は子どもから年配者、障がいを持った人まで幅広い人たちが利用していました。その頃、漠然とその幅広い人たちが一緒に行え、つながりが出来ることはないかと思っていました。

そんな思いもあって、出前講座で「みんなで行えるスポーツ」として行っているのが「ポッチャ」です。

ポッチャはヨーロッパ発祥の障がいを持った人のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ルールは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

障がいによりボールを投げる事が出来なくても勾配具を使い、自分の意思を介助者に伝えれば参加できます。

出前講座ではポッチャのルールをアレンジして公民館や会議室などでもレクリエーションとして行えるようにしています。2人から6人で一緒に行え、無理のないように腰や足が痛い人はイスに座ったままボールを転がしたり、相手チームでも良い位置にボールが転がれば歓声があがるなど、無理なく楽しくポッチャを行っています。

地域、施設、職場、学校でのレクリエーションや世代間の交流にポッチャはいかがでしょうか。

ポッチャセットを持って出前講座に伺います。



Ichksgram



fmkz

...



今年はどこへ行っても西郷さんブームですね！いちき串木野市もみんなで盛り上げて行きましょう!!
#顔はめパネル #体型似てる #せごどん (小林史和)



gacky0809

...



サワーポメロの実がなっているのを初めて見ました。今後、ポンカン並みにメジャーになるよう布教したい。(板垣勝)



takatchan_7

...



おごじょ米の棚田は今も綺麗です。
#荒川 #おごっ段の華 #今年も植えます #今年も刈ります (高嶋直輝)



misaki_kameoka

...



まちなかサロンの入口にイベント情報を設置しました！
ぜひご覧ください☆ (亀岡美咲)



まちの話題

御倉山公園復活！ 子どもの遊び場所に



昼間でも草木が生い茂り薄暗かった御倉山公園の浦和町側一帯がきれいになり、公園内にはハンモックやウオーキングコースが整備されました。本浦地区まちづくり協議会（以下「まち協」）が、活動の一つとして整備したものです。

まち協では、「昔、子どもの頃遊んだこの場所を取り戻したい」と、昨年3月から月1回20名程で、公園内のやぶ払いを続けてきました。途中からは、県や木材業者も大きな木の伐採や搬出に協力し、徐々に公園内にあった遊歩道や遊具も見えるようになりました。日が差し込むようになった公園は、まち協の人たちが遊具にペンキを塗ったり、漁網を使いブランコにもなるハンモックを取り付けたりして仕上げました。

1月20日、整備が終わったのを祝い、この日だけのツリークライミングやターザンロープが用意され、訪れた子ども達は歓声をあげて楽しんだほか、木の枝を使い秘密基地を作る姿も見られました。

本浦地区まち協会長の福岩宏基さんは、楽しそうに走り回る子ども達を見て「皆でやったかいがあった。うれしい」と目を細めました。

本浦地区まちづくり協議会は今後、新生町にある御倉山公園の遊歩道を整備していく予定とのこと。



金山蔵のトロッコ列車 木々の緑をまといリニューアル



串木野金山の採掘当時の姿を残している坑道を走る薩摩金山蔵のトロッコ列車が、2月3日、30年ぶりにリニューアルしました。

現在、坑道内では、薩摩金山蔵が焼酎を製造・貯蔵しており、一般人もトロッコ列車に乗り蔵を見学できるようになっています。こうした坑道跡を走る観光トロッコ列車としては日本で最長の700mで、そもそも一般人が入れる坑道はまれだそうです。

新しくなったトロッコ列車は、同社の主力商品のボトルカラーにも採用されている「金山の山々の緑をイメージした」深みのある緑色に塗られ、黄金色で文字が書かれています。

この日は旭小学校の児童や保護者などが始発便のトロッコ列車に乗り、関係者に見送られて坑道の中に入っていました。

長年の自治公民館長お務めに 総務大臣表彰



宮救仁さん（猪之鼻）が、総務大臣表彰を11月29日に受賞しました。

これは、猪之鼻自治公民館長を昭和51年から21年間の長きにわたり務め、自治公民館活動等に尽力した功績によるものです。宮さんは「やれることはやってきたという思いだ。うれしい」と喜びを語りました。

おめでとうございます。

萩市訪問団来市 150年前の薩長同盟の絆を確認



西郷どんが見守る中、語り合う両市長

1月30日、明治維新150年を記念して山口県萩市から市長を団長とする27名の訪問団が本市を訪れました。薩摩（鹿児島）と長州（山口）は共にイギリスに留学生を派遣し、明治維新の立役者を多数輩出したことが縁で、2年前から相互に交流を続けているものです。

萩市の藤道健二市長は「これを機に、今まで以上に手を取りあい、地方から日本を立て直す気概で地域を盛り立てていこう」と話し、薩摩藩英国留学生記念館では、「留学生の英国での行動、帰ってきた日本で何をしたいかしっかりと見ていきたい」と熱心に説明を聞いていました。

今後も歴史や食のPRなど、両市の活発な交流が期待されます。

生産者と給食食べながら話そう



「かごしまをまるごと味わう学校給食」週間に合わせて1月23日、旭小学校にニンジン生産者が訪れ、食材を通じて地域の自然や文化を理解してもらおうと、児童と一緒に給食を食べる交流給食会が開催されました。

児童たちは、給食を食べながら生産者に質問をしたり、普段私たちが食べているニンジンの種を生産者が見せると、その種が白いことに驚きを見せたりと、貴重な時間となりました。

植樹で四季が楽しめる観音ヶ池に



1月27日、観音ヶ池市民の森で、県（鹿児島地域振興局）の植樹祭が行われ、モミジやアジサイの苗木230本が市民など250人の手で植えられました。同公園は桜の時期だけでなく、一年を通して様々な木々や花が楽しめるように、市が整備を進めています。

冠岳小学校で緑の少年団に入っている冷水侑斗君も高さ50センチほどのあじさいの苗を「大きくなってほしい」と丁寧に植えていました。

また、この日はうどんやそばを提供する「観音茶屋」が同公園内にオープンしました。同公園を管理している（株）石原建設が、「賑わいのお手伝いができれば」と建設したもので、植樹を終えた参加者はさっそく茶屋を利用したり、名物の「さくら饅頭」をほおばったりしていました。



●観音茶屋 11:00~15:00
定休日 月曜 ☎36-3003

クイズ知っちゃっけ？

問い：3月4日に早春の冠岳路を歩く「徐福ロマンロードウォーキング大会」が開催されます。この“徐福”は、今から2200年前、中国秦の始皇帝の命を受け、不老不死の仙薬を日本に採りにきた方士で、冠岳とも縁が深いのですが、それはどのようなことでしょうか。

- ①冠岳で仙薬を手に入れた
- ②冠岳に冠を捧げた
- ③冠岳で修業した

答えはこの広報紙のどこかにあります。





晴れ着姿で市役所訪問



障がい者の就労を支援する事業所「ワークスペースi」の利用者が、社会体験の機会として、1月25日に晴れ着姿で市役所や薩摩藩英国留学生記念館を訪問しました。

ワークスペースiでは、製菓作業や手工芸・農業・パソコン・病院清掃等を通して、障がい者の就労機会を提供するだけでなく、生産活動に係る知識や能力向上のために必要な訓練を行っています。

利用者は一般就労へ向けて、マナーの習得や生活を充実させるために、就労セミナーの一環として伝統文化継承の会が開いている着付け講座を受講しています。

鬼焼く鬼火焚きで一年の健康を願う



2月4日、冠岳の地域おこし団体「冠遊会」は鬼火焚きを開催しました。集まった人々は、「89円」で購入した竹筒に、払いたい鬼（厄）を書き、やぐらの火にくべて鬼を払います。初めて鬼火焚きを見たという須納瀬武典さんは「今年の家族3人の健康と商売繁盛を願った」と話し、竹筒を火に投げ入れていました。

また、鬼火焚きには段ボールや竹で作った高さ5メートルを超える鬼も登場。節分にならない子ども達が豆を投げて鬼をやっつけると鬼はやぐらに倒れ込み、炎に焼かれてしまいました。

運転手さん 安全運転をお願いします



1月16日、旭小学校の児童が、国道3号線を通る車のドライバーに、安全運転を呼びかける交通安全レター作戦を行いました。

子ども達はドライバーに「これからも安全運転をお願いします」と声をかけ、「スピードに気を付けてください」とか「信号無視をしないで」など書いた手紙に手作りのお守りを添えて手渡し、交通安全を訴えました。

ジュニア豆腐マイスター誕生



市来農芸高校では「大豆100粒運動」に取り組んでおり、1月31日、同校で「ジュニア豆腐マイスター講座」が開催されました。「大豆100粒運動」とは、自分たちで大豆を育て、食べることで食の大切さを学ぶ食育の一環です。また、豆腐マイスターとは、豆腐を通じて地域で食育できる人材を育てることを目的としたもので、同校では今年度3回の豆腐マイスター講座を受講した生徒全員が「ジュニア豆腐マイスター」として認定されました。

3回目の講座となるこの日は、生徒は自分たちで育てた大豆から豆腐を作りました。生徒の一人は、手作り豆腐を食べ「前に授業で作った時はにがりを入れすぎた。その時より上手にできて、おいしかった」と喜びました。

第20回チルドレンフェスティバル



12月24日、市民文化センターでチルドレンフェスティバルが開催されました。

今回で20回目となるフェスティバルは、小学生から高校生の青少年が自分達で企画・運営し、手作りで行っているイベントです。

演目は、ダンスや吹奏楽、バンド演奏、着物着装など各種に渡り、バンド演奏ではステージ前に若者が集まり飛び跳ねるなど、若者のエネルギーに満ちた一日となりました。

100歳おめでとうございます

山本ツルエさん（酔之尾）が12月24日に、また、松下チカさん（吹上園）が1月12日に、それぞれ100歳の誕生日を迎えました。お二人には、市からお祝いの生花や記念品が贈られました。

本市の100歳以上の方は、2月8日現在で31名です。いつまでもお元気で長生きしてください。



(山本 ツルエさん)



(松下 チカさん)

「明治維新150周年記念」 第20回元気な街づくりウォーキング大会



よく晴れた1月21日、第20回元気な街づくりウォーキング大会が開催され、市内外から400名が参加しました。

参加者は串木野西中学校をスタート・ゴールに、3km、5km、10kmのコースにチャレンジ。登り坂に息を切らしながらも、野平・深田の山の緑や荒川の田園風景などを楽しみながら歩きました。

ポンカン祭開催



1月28日、季楽館で、いちき串木野ポンカン祭が開催されました。会場を訪れたお客さんは、試食をして、気に入ったポンカンやポンカンを使ったお菓子や加工品を購入していたほか、ふるさとの味を届けようと贈答用にポンカンを購入する姿も見られました。

また同日、市来ふれあい温泉センターでは、ポンカンをお風呂に浮かべた「ポンカン湯」が用意され、多くのお客さんが楽しみました。

